

# 台風19号被害について

四 電 英 夫



〔質問〕台風19号により本市は甚大な被害を被った。

今回の災害を振り返り、その対応を伺う。

〔答弁〕〔市長〕台風19号は大型で強い勢力との情報があったことから、10月10日に災害対策本部の設置・対応について協議した。

各地区での避難所開設準備や住民への注意喚起、消防団による警戒、ライフラインに被害が生じた場合の対応確認、水門の調整など、災害を想定した準備を行うとともに、台風接近後は、地域防災計画に定める基準に基づき、避難勧告の発表などあら

上、小集団の中による個性の発揮などの狙いがある。

小原小・中学校では「小原学園」として令和2年4月から新たな学校経営を取り入れたいとしているが、本市の考えを伺う。

〔答弁〕〔教育長〕小規模特認校制度は、個別指導の充実や地域との連携などにより、成果を上げていると認識しているが、令和2年4月より小原小・中学校を小学校併設型中学校として再スタートさせ、小中一貫教育制度を導入すべく準備を進めている。

さらに、教育委員会としては、同校の特色である地域との連携を発展させ、学校運営協議会制度（コミュニティースクール）の導入についても準備を進めているところである。

〔質問〕小規模特認校とは学区外からでも入学できる制度であり、個人指導による学力の向上、小集団の中による個性の発揮などの狙いがある。

〔質問〕小規模特認校とは学区外からでも入学できる制度であり、個人指導による学力の向

# 水門の管理について

佐 藤 龍 彦



〔質問〕本市の水門の管理状況を伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕本市の水門管理状況については、市が管理する水門のほかに、農業用水として白石市土地改良区及び水利組合などの受益者で管理している水門がある。

市が管理している主な水門については、福岡蔵本地区の白石川から館堀川・沢端川系統で市内に流入する水門がある。

特に大雨が予想される場合については、水位の上昇を抑えるために職員が開閉等の作業を行なっている。

〔質問〕水門の管理の課題について伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕水門の老朽化への対応や機能維持の課題もあるが、日常管理として、大雨時などの水門の適切な判断による対応が求められている。

特に、急激な豪雨の場合の迅速な対応が課題となっているため、担当課では夜間・休日でも水門操作ができるように、当番制を設けて対応している。

〔質問〕今回の台風19号に関し、水門についてどのように対応されていたのか伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕今回の台風19号は、あらかじめ相当量の降雨が予想されていたことから、前日の10月11日に課内で打ち合わせを行い、水門の調整も含めた対応について確認をとっている。

〔質問〕水門の管理の課題について伺う。

水門の開閉については、雨が降り始めてからの10月12日午前3時には水門調整を完了し、その後もパトロールを実施して出水状況の確認を行なった。

〔質問〕台風接近など緊急時に、本市は今後どのように対応していく考えなのか伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕緊急時に備えた対応については、日ごろの維持管理と体制確保が重要であると考えている。引き続き、県の防災情報や氣象庁の予報に基づき、事前に対応について体制を確認し、今回同様、急激な豪雨にも対応できるように早めの水門操作と巡回を実施していく。

また、日常の点検と施設に不具合等があれば修繕を行うなど、適切に対応していく。

〔その他の質問〕  
◎教員の労働環境及び教育環境について  
◎市政懇談会について

◎仙南地域広域景観計画について